

島根県立石見美術館 コレクション展

「今日の流儀とおしゃれ ー雑誌に見るパリの文化と暮らしー」の開催について

島根県立石見美術館では、コレクション展「今日の流儀とおしゃれ ー雑誌に見るパリの文化と暮らしー」を下記の通り開催しております。つきましては、ご多忙のところとは存じますが、取材及び報道のほど、是非ともお願いいたします。

記

1. 会 期 10月30日(水)～12月16日(月)
休館日＝毎週火曜日
2. 会 場 島根県立石見美術館 展示室 B (グラントワ内)

3. 展覧会概要

1912年から1922年にパリで刊行された『今日の流儀とおしゃれ』は、詩人で書籍出版も手がけたピエール・コラルが企画し、刊行された高級ファッション誌です。コラルは、衣装のデザインとはそれだけで独立したのではなく、同時代の社会情勢や文化的流行を反映し、それらと足並みをそろえて生み出されるものと考えていました。『今日の流儀とおしゃれ』はそうした企画者の考えを反映し、時代を切り取るファッション年鑑として構想されました。テキストとイラストからなり、それぞれに作家とイラストレーターが一人ずつ抜擢されています。本誌は『ガゼット・デュ・ボン・トン』、『ジュルナル・デ・ダーム・エ・デ・モード』などと並び、今日ではこの時代を代表する高級ファッション誌の一つとして知られています。

本展では、『今日の流儀とおしゃれ』全7巻*に収録されたファッション・プレート全点(84点)を一堂に展示し、発行当時のパリで展開された人々の暮らしや文化について紹介します。

*途中で戦争やコラルの死によって出版が停止した時期があり、11年間で7冊の発行となった。

4. 展示作品

ファッション・プレート(手彩色の版画、あるいは木版画)84点、『今日の流儀とおしゃれ』本誌など



1



2

- 1：シャルル・マルタン《入浴》1913年 島根県立石見美術館蔵
- 2：ジョルジュ・バルビエ《突風》1914年 島根県立石見美術館蔵